

軍事費より、子どもたちにもう 1 人の保育士を

日本共産党つくば市委員会が今年実施した市民アンケートで、8 割の方が「物価高で暮らしが大変」と悲鳴を上げています。自民党政治のもとで、暮らしの困難が続き、そこに物価高騰が襲いかかっています。

おおもとは自民党の格差と貧困を広げる政治があります。とくに、保育など社会保障予算があまりに貧弱な水準に押し下げられています。一方で戦争する国づくりのため、軍事費を 3 年間で 1.6 倍の 8.5 兆円にまで増やそうとしています。ところが、しんぶん赤旗がスクープした裏金事件で、国民の怒りの前に、岸田政権が退陣を表明。首相の顔を変えても、国民の信頼を得ることは決してできません。

自民党政治を終わらせましょう。憲法を守り、一人ひとりの人権と平和を守る、ぶれない日本共産党が伸びてこそ、政治を良くする力。総選挙と市議選(10/27 投票)で、日本共産党を大きく伸ばしてください。

長年の運動で”保育士配置基準”見直し、さらに前へ

国は 76 年ぶりに、**保育士配置基準**(保育士 1 人が受け持つ子どもの人数)を見直しました。これまでの運動の成果です。何より現場の切実な要求・願いが国を動かしました。

今回の見直しの対象施設は、県内で 700 施設。経過措置が設けられ、期限の定めがありません。子ども達の健やかな育ちを保障するため、さらなる運動を広げましょう。4・5 才児および 3 才児の基準改善を早く実現させ、さらに前へ。日本共産党も引き続き力を尽くします。

■保育士配置基準

年齢	これまで	24 年 4 月～
0才児	3人	改正なし
1・2才児	6人	改正なし
3才児	20人	15人
4・5才児	30人	25人



24 年 6 月県議会において、日本共産党・江尻かな県議(水戸市選挙区選出)の質問に、茨城県福祉部長が答えました。

■茨城県の保育士の平均勤務年数は 6.6 年で、**給与月額**は 25 万 5 千円(全国平均 8.5 年で 27 万 1 千円)。全職種との給与格差は月額 9 万 2 千円。

■基準に対応した配置を行うことは、保育士の負担軽減やゆとりある保育が可能となり事故防止や不適切保育の抑制につながることから、できるだけ早く取り組む。市町村と連携し、施設毎の配置現状や今後の計画をしっかりと把握していく



多くの市民と手をつなぎ、願い実現にがんばります！

国の見直しはまだ不十分です。すべての年齢で配置基準を引き上げることが必要です。また、求人しても保育士の応募がないなど人手不足は深刻です。保育士の賃金と労働条件の引き上げなど、抜本的な処遇改善は待たなしです。

日本共産党は 8/21、政府交渉の要望項目の 1 つとして実現を強く求めました。

新しいつくば 2024 年 9 月号外 日本共産党は市議選の見解を発表しました。

発行: 日本共産党つくば市委員会 つくば市上ノ室 363-7 ☎029(863)0045 mail:tsukuba.jcp@nifty.com